

令和 2 年 2 月 2 7 日
 千葉県県土整備部都市整備局建築指導課
 電話 0 4 3 (2 2 3) 3 0 6 1

千葉県内における令和元年の建築着工状況について

千葉県における平成 3 1 年 1 月～令和元年 1 2 月分の建築着工状況がまとまりました。これは、国土交通省が行っている建築着工統計調査の千葉県分を取りまとめたものです。^{*1}

新設住宅の「着工戸数」は 4 5, 9 4 6 戸で、前年より 1. 8 % 減少しましたが、^{*2}「着工床面積」は 3 8 5 万 4 千 m² で、3. 4 % 増加しております。

建築物の「着工床面積」は 6 5 8 万 5 千 m² で、前年より 3. 5 % 減少しましたが、^{*3}「工事費予定額」は約 1 兆 3, 5 8 2 億円で、5. 3 % 増加しております。

*1 建築着工統計調査：建築物の着工動態を明らかにし、建築及び住宅に関する基礎資料を得ることを目的とし、国が行っている調査

*2 新設住宅：新築、増築や改築によって住宅の戸が新たに造られるもの

*3 建築物：全ての建築物（住宅、産業専用の建築物（事務所、店舗、工場、倉庫など））

1 新設住宅の着工戸数

(1) 着工状況

- ・新設住宅の着工戸数は、4 5, 9 4 6 戸で、前年に比べ 8 6 1 戸の減
(▲ 1. 8 %)
- ・新設住宅の床面積の合計は、3, 8 5 4 千 m² で、前年に比べ
1 2 6 千 m² の増 (3. 4 %)
- ・一戸当たりの床面積は、8 3. 9 m² で、前年に比べ 4. 3 m² の増
(5. 4 %)

年別 \ 区分	新設住宅の 着工戸数 戸	新設住宅の 床面積の合計 千 m ²	一戸当たりの 床面積 m ²
令和元年 ①	45,946	3,854	83.9
平成 3 0 年 ②	46,807	3,728	79.6
比較 ③=①-②	▲861	126	4.3
増減率 ④=③/②	▲1.8%	3.4%	5.4%

(資料 1 参照)

(2) 利用関係別戸数

- ・持家は、12,645戸で、前年に比べ191戸の増
*1 (1.5%)
- ・貸家は、15,622戸で、前年に比べ3,431戸の減
*2 (▲18.0%)
- ・分譲住宅は、17,345戸で、前年に比べ2,988戸の増
*3 (20.8%)
- ・給与住宅は、334戸で、前年に比べ609戸の減
*4 (▲64.6%)

区分 年別	持家 戸	貸家 戸	分譲住宅 戸	給与住宅 戸	新設計 戸
令和元年 ①	12,645	15,622	17,345	334	45,946
平成30年 ②	12,454	19,053	14,357	943	46,807
比較 ③=①-②	191	▲3,431	2,988	▲609	▲861
増減率 ④=③/②	1.5%	▲18.0%	20.8%	▲64.6%	▲1.8%

*1 持家：建築主が自分で居住する目的で建築するもの

(資料2参照)

*2 貸家：建築主が賃貸する目的で建築するもの

*3 分譲住宅：建て売り又は分譲の目的で建築するもの

*4 給与住宅：会社、官公署、学校等が社員、職員、教員等を居住させる目的で建築するもの

(3) 分譲住宅戸数の内訳

- ・一戸建等住宅は、12,085戸で、前年に比べ1,057戸の増
*1 (9.6%)
- ・共同住宅は、5,260戸で、前年に比べ1,931戸の増
*2 (58.0%)

区分 年別	一戸建等住宅 戸	共同住宅 戸	分譲住宅計 戸
令和元年 ①	12,085	5,260	17,345
平成30年 ②	11,028	3,329	14,357
比較 ③=①-②	1,057	1,931	2,988
増減率 ④=③/②	9.6%	58.0%	20.8%

*1 一戸建等住宅：一戸建住宅、長屋建住宅

(資料2参照)

*2 共同住宅：一つの建築物（一棟）内に二戸以上の住宅があって、

広間、廊下若しくは階段等の全部又は一部を共有するもの

(4) 資金別戸数

- ・民間資金は、39,746戸で、前年に比べ135戸の増
*1 (0.3%)
- ・公的資金は、6,200戸で、前年に比べ996戸の減
*2 (▲13.8%)

年別 \ 区分	民間資金 戸	公的資金 戸	新設計 戸
令和元年 ①	39,746	6,200	45,946
平成30年 ②	39,611	7,196	46,807
比較 ③=①-②	135	▲996	▲861
増減率 ④=③/②	0.3%	▲13.8%	▲1.8%

*1 民間資金：民間資金のみで建てる住宅

*2 公的資金：公営住宅及び住宅金融支援機構、都市再生機構その他の資金で建てる住宅（民間資金と公的資金の併用は、公的資金を含む）

(資料2参照)

(5) 構造別戸数

- ・木造は、29,392戸で、前年に比べ37戸の減
*1 (▲0.1%)
- ・非木造は、16,554戸で、前年に比べ824戸の減
*2 (▲4.7%)

年別 \ 区分	木造 戸	非木造 戸	新設計 戸
令和元年 ①	29,392	16,554	45,946
平成30年 ②	29,429	17,378	46,807
比較 ③=①-②	▲37	▲824	▲861
増減率 ④=③/②	▲0.1%	▲4.7%	▲1.8%

*1 木造：主要構造部が木造のもの

*2 非木造：主要構造部が木造以外（鉄骨造・鉄筋コンクリート造等）のもの

(主要構造部：建築基準法第2条第5号による。壁、柱、床、はり、屋根又は階段をいい、構造上重要でない部分を除く)

(資料2参照)

(6) 市町村別戸数

- 市町村別の着工戸数は、千葉市が7,302戸で最も多く、以下、船橋市、市川市、柏市、流山市、松戸市、浦安市となっています。

順位	令和元年			順位	平成30年	
	区 域	着工戸数 (戸)	前年比 (%)		区 域	着工戸数 (戸)
	千葉県	45,946	▲1.8		千葉県	46,807
1	千葉市	7,302	16.9	1	千葉市	6,246
2	船橋市	5,395	▲10.7	2	船橋市	6,043
3	市川市	4,077	▲4.7	3	市川市	4,277
4	柏市	4,019	▲1.5	4	柏市	4,082
5	流山市	3,131	36.1	5	松戸市	3,473
6	松戸市	3,042	▲12.4	6	流山市	2,301
7	浦安市	1,766	37.2	7	市原市	1,865

(資料3参照)

(7) 都道府県別戸数

- 全国の新設住宅の着工戸数は、約90万5千戸で、前年に比べ約3万7千戸の減 (▲4.0%)
- 都道府県別の着工戸数は、東京都が約13万9千戸で最も多く、以下、神奈川県、大阪府、愛知県、埼玉県に続き、千葉県は約4万6千戸(全国6位)となっています。

2 建築物の着工床面積

(1) 着工状況

- ・着工床面積は、6,585千㎡で、前年に比べ241千㎡の減
(▲3.5%)
- ・工事費予定額は、約1兆3,582億円で、前年に比べ約689億円の増
(5.3%)
- ・工事費予定額の1㎡当たりの単価は、約20万6千円で、前年に比べ
約1万7千円の増 (9.2%)

年別 \ 区分	着工床面積 千㎡	工事費予定額 百万円	1㎡当たりの単価 円
令和元年 ①	6,585	1,358,245	206,263
平成30年 ②	6,826	1,289,339	188,886
比較 ③=①-②	▲241	68,906	17,377
増減率 ④=③/②	▲3.5%	5.3%	9.2%

(資料1参照)

(2) 都道府県別着工床面積

- ・全国の建築物の着工床面積は、127,555千㎡で、前年に比べ
3,594千㎡の減 (▲2.7%)
- ・都道府県別の着工床面積は、東京都が14,431千㎡で最も多く、以下、
愛知県、神奈川県、大阪府、埼玉県に続き、千葉県は6,585千㎡(全国
6位)となっています。